

令和3年8月18日

南の風東京2020オリンピック特集号V

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

さあ、準決勝のフランス戦です。銀メダル以上が懸るゲームです。

予選で日本に負けているフランスは、この準決勝は相当気合を入れてくるものと思われます。

第1Qは、立ち上がり日本が町田から、高田、宮澤のカットインへのアシストパスが通りシュートが決まる。続けて赤穂のバックドアカットへ町田の絶妙のパスも通り、得点をゲット。

一方フランスは、日本のボールサイドを守るディフェンスの裏を突き、2Pや3Pシュートが続けて決まる。23番ジョアネスのドライブからのダブルクラッチも決まり接戦となる。

日本は、強度を上げたディフェンスを仕掛け、長岡がテイクチャージして盛り上げる。フランスも日本のディフェンスに徐々に対応して、逆サイドへパスを回しシュートを決める。

日本14-20フランスで第1Q終了。

日本はディフェンスから流れをつかみ、リバウンドを取り速い展開からシュートに持ち込んでいました。町田選手のアシストパスのタイミングの良さと精度が光ります。

フランスは日本のディフェンスに徐々に対応し、リカバリーの遅れを突きジャンプシュートや3Pシュートで点差を広げていきました。

第2Qは、宮澤の相手ポストマンへのパスカットからの速攻で始まる。町田から林へのパスがつながりランニングシュートが決まる。さらに高田がポストで体を張りシュートが決まりバスカン。フリースローも決まる。フランスのシュートが落ちている隙に、リバウンドから日本が走り、町田からのパスを受けた赤穂がランニングレイアップで得点する。日本21-22フランス。

日本はボールプレスを続行するが、ローテーションからのリカバリーが遅れ、コーナーから3Pシュートを決められる。日本はディフェンスの強度を保ちながら立ち向かう。赤穂のドライブシュートが決まる。続けてリバウンドから速い展開で、町田がドリブルでエントリーして宮澤にパス。3Pシュートが決まる。直後にまたリバウンドから、町田がドライブでペイントを切り裂き、エンド沿いからカットした赤穂に絶妙のパスを出し得点する。日本28-27フランス。

日本はフランスのボール運びを、コフィンコーナーでダブルチームするが、惜しくもゴール下にパスを通され得点される。その直後、エンドラインスローインのフォーメーションから、コーナーにムーブした高田が3Pシュートを沈める。流れをつかんだ日本は、町田がトップからドライブを仕掛ける。パスを警戒したフランスのヘルプが一瞬遅れる。町田はそれを見逃さず、ドライブを続行しシュートに行く。ディフェンスがブロックに来ると、タイミングをずらしてレイバックシュートを見事に決める。フランスの得点が止まる間に、リバウンドの速攻から町田が宮澤にパスを出し、3Pシュートを決める。

さらに赤穂のドライブにオコエが合わせ、ゴール下シュートをゲットする。続いてまたもリバウンドから走り、町田がボールコントロールして、機を見てドライブでペイントを攻め、キックアウトして宮澤へパス。瞬時にエキストラパスで林へ。林が3Pシュートを確実に決める。圧巻の攻めであった。

フランスも意地で23番ジョアネスが3Pシュートを入れ返す。2Q終了時、41-34で日本リード。町田選手の圧倒的な活躍が光った第2Qでした。